

動力盤・制御盤内だけで完結！！

簡単後付け 遠隔稼働監視

1

監視したい回路に
クランプするだけ！
簡単後付け
遠隔稼働監視

2

アンテナ外出し不要！
すべての配線が
盤内で完結！

3

動力・制御盤から
事務所まで
配線工事レスで
コストダウン実現！

クランプ式通電検知モジュール × LoRa無線機 で
これらが実現します！

U-LRD

クランプ式通電検知モジュール(トランジスタ出力)
CTT-CS シリーズ

このモジュールは、
クランプ式交流電流センサに
通電検知回路を組み込んだ
オールインワン構造です。
通電線にクランプするだけで、
通電検知信号が得られる
特徴を持っています。
現在、既存設備への後付け
稼働監視ニーズが増えており、
注目されている製品の1つです。



Hakaru+

LoRa無線機
HLR-C シリーズ

LoRa無線は、
少ない消費電力で広いエリアをか
バーする無線(LPWA)の
一種で、主にIoT向けの
通信ネットワークに使用されています。
920MHz帯のサブギガ帯の
無線を使用しているため、
無線申請や免許の取得は
不要です。

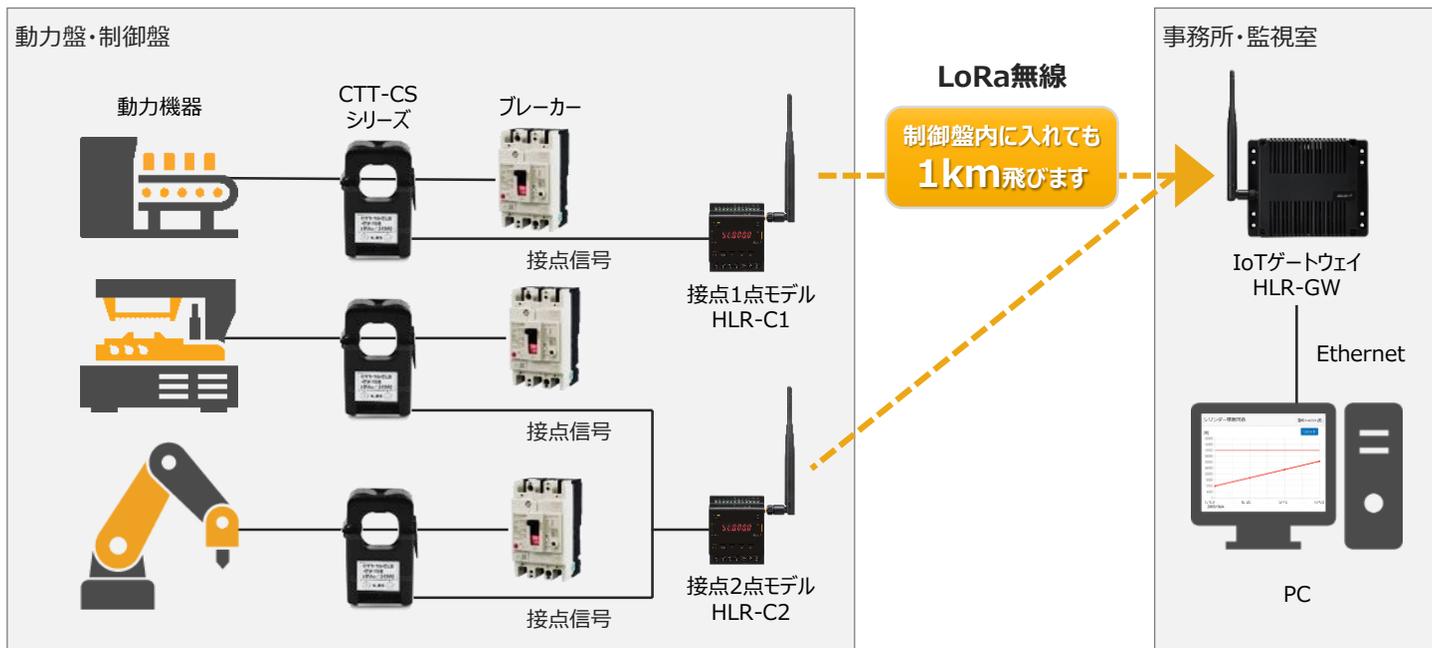


クランプするだけで簡単に接点取得

制御盤内に入れても1km飛びます

動力機器のON/OFF検知による稼働監視

コンベアや工作機械などの動力機器の通電線をクランプすることで、ON/OFFを検知する通電検知信号が得られます。その信号を接点信号として、LoRa無線機に入力、IoTゲートウェイにLoRa無線で飛ばすことで簡単に後付けで稼働監視ができます。



主な仕様

ハカルプラス株式会社製
LoRa無線機 接点モデル
型式:HLR-C シリーズ

共通仕様

通信距離：見通し5km
2.3mm板厚で
盤間距離見通し1.5km
データ更新/接続子機数：10秒/1台、1分/5台、10分/50台
最大グループ数：12グループ
電源：AC85~264V
取付：DINレール または ネジ

HLR-C1

入力仕様：接点1点(無電圧)
出力仕様：LoRa通信 920MHz帯
接点1点(無電圧)

HLR-C2

入力仕様：接点2点(無電圧)
出力仕様：LoRa通信 920MHz帯
接点2点(無電圧)

LoRa無線機

IoTゲートウェイ(WEBサーバー・モニタリングソフト付)
型式:HLR-GW

HLR-GW

通信：LoRa通信 920MHz帯 / Ethernet
電源：AC100V(ACアダプター)
機能：状態モニター(グラフ)、稼働回数カウント、警報設定、警報出力
対応ブラウザ：Google Chrome
その他機能：メール通知機能、USBメモリ記録機能、外部接点出力(オプション)

安心の通信テスト訪問サービス

簡単な通信確認キットの貸し出しサービスも展開中

株式会社ユー・アール・ディー製
クランプ式通電検知モジュール
型式:CTT-CSシリーズ

共通仕様

出力仕様：エミッタ接地・オープンコレクタ出力
(MAX DC30V/30mA)

CTT-10-CS05, CTT-16-CS05

設定電流：0.5A固定

CTT-10-CS1

設定電流：1A固定

CTT-16-CS10

設定電流：1~10A(1A刻みに設定可)

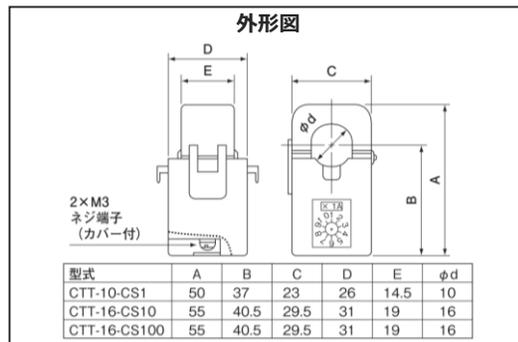
CTT-16-CS100

設定電流：10~100A(10A刻みに設定可)

電流の簡単後付け遠隔監視なら

CTT-CLS-RMSシリーズ

CTT-CLS-RMS



お問合せ

ハカルプラス 株式会社

06-6300-2148 <https://hakaruplus.jp>

大阪 〒532-0027 大阪市淀川区田川3-5-11

東京 〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南3-12-9